

みんなにささえられている

わたし



わたしたちは、
 たくさんの人のお世話に
 なって生活しています。
 毎日の生活をふり返りながら、
 また、いろいろなじゆ業の中で勉強したことも参考にして、
 どんな人たちにささえられているかを考えてみましょう。

感^{かん}しゃの気^きもちをも^もって

あなたはどんな人にささえられていますか。

□の中に書きましょう。
 そして、その人たちの気持ちを
 考えてみましょう。

か いて
家庭で



□

学校で



□

ち
地いきで

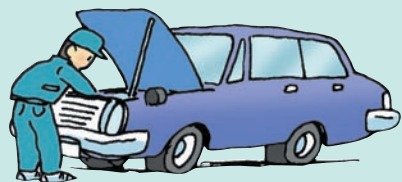


□



今の暮らしをつってくれたお年寄りたち

おじいさんはわかいころ、自動車工場で働いていました。自動車のことなら何でも分かる。



みんなが自動車に乗って楽しくすごしていることを考えるとわくわくしたよ。



何か月も育てて、やっとお米が実ったときは、とてもうれしかったよ。



おばあさんはわかいころ、お米作りをがんばっていました。お天気のことにはくわしいよ。



あなたのまわりにお年よりに、わかいころ、どんな気持ちで仕事をしてきたか聞いてみましょう。

となりのおじいさんは、デパートにつとめていました。人の顔を見ただけでお客様の希望が分かる。



買い物をした人たちに喜んでもらえる、はげみになったよ。

わたしの「ありがとう」

朝がくると とび起きて
ぼくが作ったのでもない
水道で 顔をあらうと
ぼくが作ったのでもない
洋服を きて
ぼくが作ったのでもない
ごはんを おしゃむしゃたべる
それから ぼくが作ったのでもない
本やノートを
ぼくが作ったのでもない
ランドセルに つめて
せなかに しょって
さて ぼくが作ったのでもない
靴を はくと
たったか たったか でかけていく
ぼくが作ったのでもない
道路を
ぼくが作ったのでもない
学校へと
ああ なんのために
いまに おとなになったなら
ぼくだって ぼくだって
なにかを 作ることが
できるよ なるために

朝がくると まど・みちお



この詩を読んで、どのようなことを感じましたか。



3年生のとき

4年生のとき



人をささえることができる人になろう。